

3月20日(日)

特大

塩さば

国産 脂のりも抜群な

限定200匹

1匹

1,200(税込)円

西田鮮魚店 72-5246

専用番号 090-7125-5489 御用聞き便 (旧庄原市内はご自宅に配達)

でかい！でかいぞ〜！特大塩サバ仕入れました〜！
 この頃すつかり気候も暖かく、広島市内では桜も咲き
 始めたらしいですね。
 ご卒業や合格発表など、大事な節目に立った皆様には、
 旅立ちの時でもあり成長の時期でも有りますね。
 今回の特大塩サバは、限定200匹となっております。
 とにかくサバは、でかい程美味しい！シメサバや焼き物、
 そして唐揚げでも美味しいですよ。私は、皮がパリパリに
 なって端っこが少し焦げてるくらいが大好きで……。あ〜
 もうヨダレが垂れそう(笑)。
 日本人に1番愛されている魚の1つと言っても過言では
 ない魚ですね！
 ちなみに本日20日の日曜日は、丘陵公園で里山マルシェ
 が開催されております。
 当店も声の大きな西さんと、鮮魚の母ちゃん光永さ
 んが、カキフライと牡蠣飯を元気に販売しております。
 天気にもよりますが、どうぞ皆様当店と、マルシェの方に
 足を運んでやって下さい。
 晴れた日曜日って何だか良いことありそうですね(笑)

西田鮮魚店 主任 奥原歩久斗

目に眩しい 若鯉たちの『ひと肌脱ぐ』とカープグッズ

鮮コーポレーション(株) 代表取締役会長 西田 昌史

ジョイフルに未来会議という会があります。メンバーは『百彩百華にしかみ』の原田さん、福場さん『メガネハウス タケダ』の竹田さん、『サンエイドール』の岩本さん、『西田 鮮魚店』の祐宗さん、そして『シンセイアート』の福岡さんにジョイフル本部の倉本さん、辻さんと私の9人。毎月第2月曜日の2時から1時間ほど、ジョイフルの未来のために今の課題を話し合おうという会議です。

1月には、「ジョイフルを賑やかにするためにできること」というテーマで、アイデアを出し合いました。そんな中で盛り上がったのが「ねこ店長」。お察しのとおり「ねこ店長」にヒントがありますが、進行役の私が、おおいに乗り気になつたせいか、話は広がりになり、ついには実行に移そうということになりました。では、翌月、どうやって「猫」を店長にするか、具体的に話そうということで、1月の会議は終わりました。

会議が終わって一人になると、さっきまでの興奮はどこへやら、誰が世話するの？夜はどうするの？動物を飼うって家庭でも、けっこう大変。ましてやジョイフルで……よくあることです。みんなワイワイやっている時は良いアイデアだと思っても……。

2月の会議の冒頭、みんなに謝りました。無かつたことのように。誰も反対しませんでした。たぶん、皆も私と同じように冷静になってみると、現実的じゃないと思つたのでしよう。

強がり言う、それはそれでよし。ワイワイガヤガヤやるのが、元気を生み出す素になる。何かを始めるエネルギーは、そんな中から生まれるものだ。強がりですが。

というわけで、2月のテーマは、『カープグッズを売ろう』としました。

というのも、『芸備線にカープ号を走らす会』の住田さんからお話をいただいた、ジョイフルが応援している正随選手からカープの10人の若手選手が上半身裸で撮つた若鯉の『ひと肌脱ぐ』という写真と、芸備線を走るカープ号の4枚の写真、ジョイフル2階の『メガネハウス タケダ』と『ニット&ハンドクラフト マスヤ』の前の空きスペースに展示しようということになりました。

ちょうどそのころ、本部の辻さんが、その空きスペースを『A-S-P-A-C-E』と呼びたいという提案をしてきてくれたので、その最初のイベントとして、オープン戦も始まつていることから、ここはひとつカープグッズと一緒に飾ろうではないか、飾るだけではない、買っていただくこうではないか、ということになりました。

『ねこ店長』の時ほどには盛り上がりませんでした。やはり、みんな現実的なことは、そうそう思いつきでしゃべれないのでしよう。だって、目の前に、実際、商品があるわけですから。1時間なんて、あつという間、商品のことなど説明して、では3月に具体的に考えようということになりました。そして迎えた、3月14日の未来会議。今回は私も真剣です。『ねこ店長』が不真面目だったわけではないのですが、どこかで……。わかつてもらえらると思います。

先に、辻さんたちがグッズを陳列してくれていたの、みんなグッズが展示してある『A-S-P-A-C-E』に行つてミーティング。やはり、現物を前にすると話が具体的にになります。

いちばん目を引くのがユニフォームのレプリカ。誠也のユニフォームが一番多い。でも、誠也はいない。どこのチーム

に行くのか、まだ決まっていますませんが、2、3日前の中国新聞に、もうロスにいて絶対調みたいな記事がありました。でもない。誰かが言いました(私かも)。

「もう、誠也のユニフォームは作らんじやろ。これから、『SUZUKI 1』は超レアになるんじゃない？買おうにも買えん。お宝！じゃ」。

そういう目で見ると、ここは『お宝』もしくは『珍品奇品』の宝庫ではないか。

「SUZUKI 52」であるけど、誠也の最初の背番号つて51じゃなかった？」「そうじゃそうじゃ。間違いじゃない？」「そんなことはなかるう」と例によって、ワイワイ言つてると岩本さんが「別の鈴木よ〜ね」とスマホをみんなに見せました。そこには、「鈴木寛人・投手・2019年ドラフト3位」とありました。「あ〜、なるほど」

別の誰かが言いました。「121番があるよ。誰が買うんじやろ」。再びスマホの登場です。3ヶタですから育成の選手です。「二俣翔一 捕手 2021年 育成ドラフト1位」。育成から上つてきたのは、ソフトバンクの千賀投手とか甲斐捕手が有名ですが、二俣選手だつてどうなるか。ブレイクするかもしれない。その時、二俣選手の育成時代のユニフォームなど着て、マツダスタジアムに登場した日には「オーツ」と感嘆されるかもしれません。海の物とも、山の物ともわからぬ若い選手への応援メッセージという意味も込めて、着ていただければ。

他にも、レジェンドたちのユニフォームもちらほら。黒田とか新井はあたりまえ。梵6・赤松38今村16・バティスタ95・岩本10。懐かしい名前が見えます。そんな中「この10番は僕が買わんといけんよねえ」「ん？ああそうか、同姓かあ」。サンエイドールの岩本さんでした。同姓の方、もしくはお知り合いに同姓の方が、いらつしやるようなら、ぜひお奨めください。

私は数年前、マツダスタジアムで梵選手のユニフォームを買いました。その頃は彼の晩年で、ほぼ試合には出ていませんでしたが、そこは、梵選手を育てた当時の三高の野球部の光久監督と私が同級生という縁もあり(実は私、高一の時、光久さんと一緒に野球部に在籍していたこともあるのです。根性不足で3ヶ月ほどで辞めてしまいました)、エルドレッドを買おうと思つていたのでありますが、『SOYOGI 10』を着て観戦しました。みんなと一緒に嫌だ。少しはひねりを効かせたい、という性格もそうさせたのかもしれない(笑)。

ジョイフル2階にお越しください。そして、誰もを着ていないユニフォームをお買い上げください。



背番号52の鈴木選手のユニフォームを指さす倉本部長